

2021年7-9月期 GDP1次速報予測

株式会社三菱総合研究所(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:森崎孝)は、内閣府より11月15日(月)に公表予定の2021年7-9月期のGDP速報(1次QE)について予測を行いました。
2021年7-9月期の実質GDPは、季節調整済前期比▲0.4%(年率▲1.7%)と予測します。

2021年7-9月期の実質GDPは、季節調整済前期比▲0.4%(年率▲1.7%)と2四半期ぶりのマイナス成長を予測する。

民間最終消費は、同▲1.0%と予測する。感染者の急増を受けた4回目の緊急事態宣言(7月12日~9月30日)の発令により、消費が抑制されたとみる。設備投資は、同▲2.3%と予測する。背景には、製造業では半導体・部品などの供給制約による生産減少、非製造業では外出関連サービス業での業績低迷がある。一方、政府最終消費は、ワクチン接種費用が計上されることから同+2.7%と予測する。民間在庫は、消費の減少により流通在庫が増加し、+0.3%ポイントのプラス寄与を見込む。

輸出は供給制約による生産の低迷や中国経済の減速を背景に、同▲3.0%と5四半期ぶりの減少を予測する。輸入も内需の減少から同▲1.9%と減少を予測する。外需寄与は同▲0.2%ポイントのマイナス寄与を見込む。

図表 2021年7-9月期 GDP速報 予測結果

単位：断りがない限り 季調済前期比(%)		2021年		
		1-3月期 実績	4-6月期 実績	7-9月期 予測
実質GDP	季調済前期比年率	▲1.1 (▲4.2)	0.5 (1.9)	▲0.4 (▲1.7)
民間最終消費		▲1.3	0.9	▲1.0
民間住宅投資		1.0	2.1	0.0
民間企業設備投資		▲1.3	2.3	▲2.3
民間在庫	寄与度	0.4	▲0.3	0.3
政府最終消費		▲1.7	1.3	2.7
公的固定資本形成		▲1.1	▲1.7	▲2.8
財・サービス輸出		2.4	2.8	▲3.0
財・サービス輸入		4.0	5.0	▲1.9
内需	寄与度	▲0.8	0.8	▲0.2
民需	寄与度	▲0.4	0.6	▲0.6
公需	寄与度	▲0.4	0.2	0.4
外需	寄与度	▲0.2	▲0.3	▲0.2
名目GDP	季調済前期比年率	▲1.1 (▲4.3)	▲0.1 (▲0.5)	▲0.4 (▲1.7)
GDPデフレーター	前年同期比	▲0.2	▲1.1	▲1.1
国内需要デフレーター	前年同期比	▲0.5	0.2	0.6

注:表中の実績値は2021年4-6月期2次QE。シャドー部分が今回の予測値。
出所:実績は内閣府「国民経済計算」、予測は三菱総合研究所

本件に関するお問い合わせ先

株式会社三菱総合研究所
〒100-8141 東京都千代田区永田町二丁目 10 番 3 号

【内容に関するお問い合わせ】

政策・経済センター 田中康就 綿谷謙吾
電話:03-6858-2717 メール:macro-ml@mri.co.jp

【報道機関からのお問い合わせ】

広報部
電話:03-6705-6000 メール:media@mri.co.jp
